

平成 24 年 10 月 24 日、KKR ホテル札幌（札幌市中央区）において、グリーンテクノバンク、北方系機能性植物研究会、農林水産省主催で北の機能性作物活用シンポジウム『道内食資源を活用したヘルス・イノベーション戦略』が開催された。

基調講演 1 では、北海道情報大学教授（内科医師）の西平順氏から「地域が支える機能性食品の臨床研究」では臨床試験の現状について、基調講演 2 では、小樽商科大学ビジネススクール 教授瀬戸篤氏から「道内食におけるイノベーションの可能性」では、産業連関表を使い農業振興が地域経済に与える影響が大きいことが報告された。

つづいて、講演 1 では（株）アミノアップ化学伊藤知洋氏から「酵素処理アスパラガス抽出物の抗ストレス作用」の概要が報告された。また、講演 2 の道総研食品加工研究センター研究主査渡邊治氏から「きのこの保健機能性および市場動向について」では、機能性チーズの開発などの研究成果、講演 3 では北海道大学大学院農学研究院准教授松浦英幸氏から「天然物からの生理活性物質の探索」では抗原虫剤の探索について報告された。参加者は、民間企業などを含めて 102 名であった。

